

## 「可能性、花開く」

本校は、昭和23年に福島県立信夫高等学校飯坂分校として開校し、昭和26年に信夫高等学校第二部、昭和32年に福島工業高等学校飯坂第二部、昭和33年に福島高等学校飯坂第二部と校名を変更し、昭和35年には飯坂高等学校として独立します。現在の福島北高等学校と校名を変更したのが昭和49年であり、平成13年に1期生を迎えて総合学科校としてスタートし、歴史と伝統を積み重ね、今年度で創立76年となります。

「心身の健康」「資質の錬磨」「人格の育成」を校訓とし、豊かな人間性を育み、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身に付けた心身ともに健康な社会の形成者として地域に貢献できる人材の育成を目指しています。

本校の総合学科は、生徒の進路希望に応じた科目選択が可能となるよう、関連のある科目を体系化し、「文理総合」「生活総合」「情報ビジネス」「教養文化」の4つの系列を設定しています。生徒一人ひとりの興味・関心に基づく主体的な学習を通して、それぞれの個性を伸張し、将来の生き方や進路についての考察を深め、社会に貢献する人材として必要な資質を育む学科です。

さらに、地域貢献に繋がる様々なボランティア活動も本校の大きな特色であり、生徒の人的な成長に大きく反映されていると感じます。1年次の「産業社会と人間」における多様な学習経験、2年次以降の系列選択、教科・科目の選択を通しての主体的な学び、3年次の「課題研究」における取組で、総合学科ならではの学びに取り組んでいます。

こうした教育活動の中で、一人ひとりが様々なことに挑戦し、少しずつ自分を高めながら可能性を発見し、卒業後の生き方や進路について考察を深め、卒業時に大きな花を咲かせて旅立っていくことを願い、教職員が一丸となって、全力で支援していきます。生徒の皆さんには、自分の可能性を信じ、将来への夢と希望を抱き、その実現へ向けての努力を継続してほしいと思っています。

保護者や地域の皆様には、今後とも本校の教育活動に対する御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。